



トラブルシューティング — 圧力が低い

圧力が低い場合の原因は主に、ポンプが吸引できていない、圧力を上げられない、リークしているなどです。圧力が低いときは、大抵は圧力が不安定になっています。圧力が不安定の項目もあわせて参照してください。

以下の項目を確認しましょう。

- 溶媒フィルタが詰まっていないか？
- バッファが濃すぎて塩が析出してしまい、各バルブの不具合を起こしていないか？
- 流路のどこかでリークしていないか？
- 溶媒や流速が不適切ではないか？

原因として考えられることを挙げます。

- インレットバルブの不具合。
- マルチチャンネルグラジェントバルブ（4液バルブ）の不具合（クォータナリポンプ）。
- 水系移動相のボトル内に藻が発生して、溶媒フィルタが詰まり吸引できない。
- バッファが濃すぎて混合後塩が析出し、各バルブの動作不具合を引き起こしている。
- プランジャーシールの摩耗によりリークしている。
- 流路のどこかでリークしている。
- 移動相がいつもと違う。

圧力は低くて安定している時は、まず移動相の組成や流量を確かめます。まれに溶媒の置き間違いや調製方法の間違ひの場合があります。また流路のどこかでリークしている場合があります。ニードルやニードルシートからリークしていても、液が廃液チューブに排水されてしまうと、リークセンサーで検知されません。シールウオッシュ仕様のポンプの場合、リークした液がシールウオッシュの廃液チューブ側に流れてリークが見えない場合があります。

圧力が低い症状のその他の原因として、まれにあるのが条件の間違ひです。機器コントロールソフトウェアで新しい条件を呼び出したとき、この条件と機器の条件（移動相など）が合っているかどうか確認してください。

ご不明な点は、カスタマコンタクトセンタまで（電話受付 9:00～12:00、13:00～18:00 土、日、祝日は除きます）

電話  0120-477-111

E-mail: email_japan@agilent.com

FAX  0120-565-154

<http://www.agilent.com/chem/jp>